

## ■著作権について■

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等 することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる 手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートのご利用は自己責任でお願いします。このレポートの利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## はじめに

元FXコーチの正太郎です。

この度は、当メルマガにご登録ありがとうございます。

メルマガ登録の感謝の気持ちとしまして、当ブログで非常に人気の高いMT4専用の無料インジケーターであるFuturo FXの解説書を作成しました。

Futuro FXは非常にユニークな特徴を持ったインジケーターで、現在の値動きの将来を予測し、チャート上に表示してくれます。



これはどんな理屈でチャートの先を予測しているのかといいますと、過去の値動の中から現在の値動きと相関の高いパターンを探し出し、それらの情報から今後どう動くのかを表示しているのです。

チャート分析の大前提となっているのが、「過去の値動きは繰り返す」という考え

方です。

ダウ理論もフィボナッチもエリオット波動もグランビルの法則、その他どんなテクニカル分析手法は、「過去の値動き」を参考にしています。

バックテストや検証の考え方も同じです。

「**過去の相場で勝てたのであれば、将来の相場でも勝てるだろう**」という前提でバックテストや検証を行っているのです。

こう考えていくと、**FuturoFXの過去の似たパターンを探し出し、それらの情報から将来の動きを予測する**というロジックには妥当性があると判断できます。

また、Futuro FXは他のインジケータや手法と組み合わせやすいのも特徴です。自分の手法がエントリーポイントの時、Futuro FXも同じ方向を示していれば自信を持ってエントリーする、といった使い方もできると思います。

本書では、Futuro FXのダウンロード方法から使用方法まで詳しく網羅しています。一応ダウンロードファイルにはFuturo FX製作者の解説も入っていますが、英語版のみとなっています。そのため、説で必要となってくる部分は私が翻訳して本書内に記載しております。

ちょっと他にはない発想のFuturo FXを組み入れてみてはいかがでしょうか？

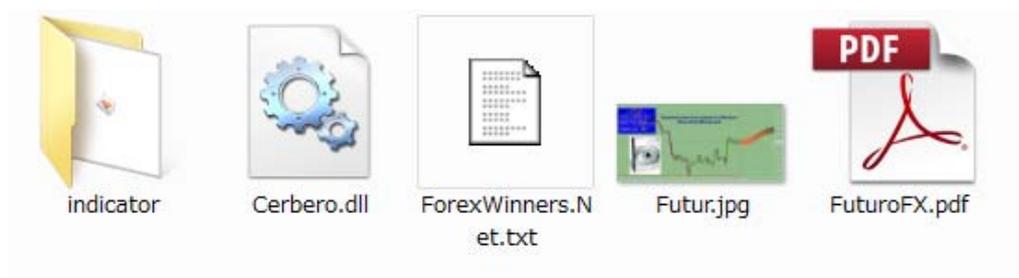
## ダウンロードおよびインストール方法

### 1.ダウンロード方法

まずは以下のURLをクリックしてFuturo FXをダウンロードしてください。

<https://fx-winwin.com/tokuten/FuturoFX.zip>

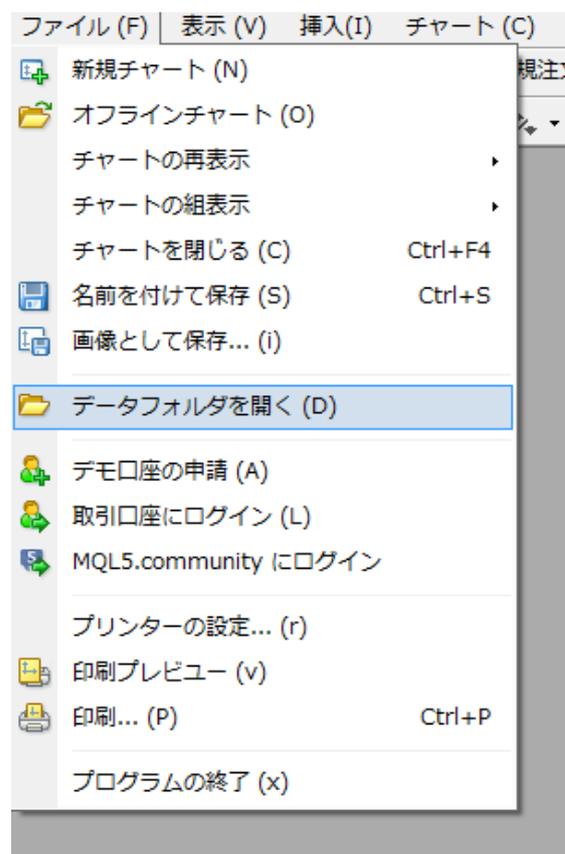
ダウンロードファイルはZip形式ですので、ダウンロードが終了したら解凍してください。解凍すると以下のようなファイルがフォルダに入っていると思います。  
(indicatorフォルダ内にFuturoFX.mq4が入っているはずです)



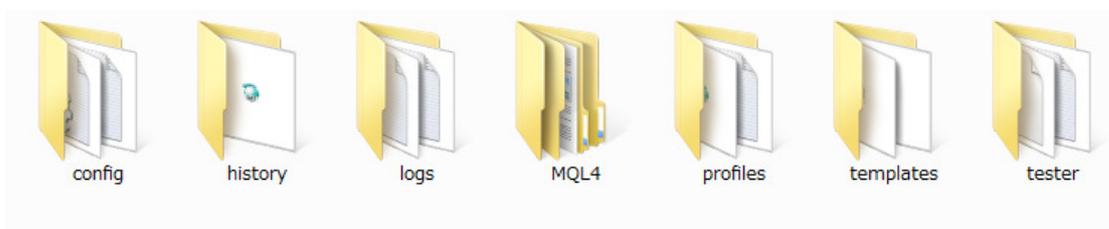
## 2.Futuro FXのMT4へのインストール方法

Futuro FXのダウンロードが終わりましたら、今度はMT4にインストールしていきます。

まずは、MT4を起動させ、左上の「ファイル」をクリックして「データフォルダを開く」を更にクリックしてください。



すると、下のようなフォルダが表示されると思います。



以上のフォルダの中で今回使用するのはMQL4です。  
この中にFuturoFX.mq4とCerber.dllを入れていきます。

### **(1)FuturoFX.mq4を入れる**

MT4のデータフォルダが開けましたら、MQL4⇒Indicatorsと進み、  
Indicatorsのフォルダ内に先ほどダウンロードしたFuturoFX.mq4を入れてください。

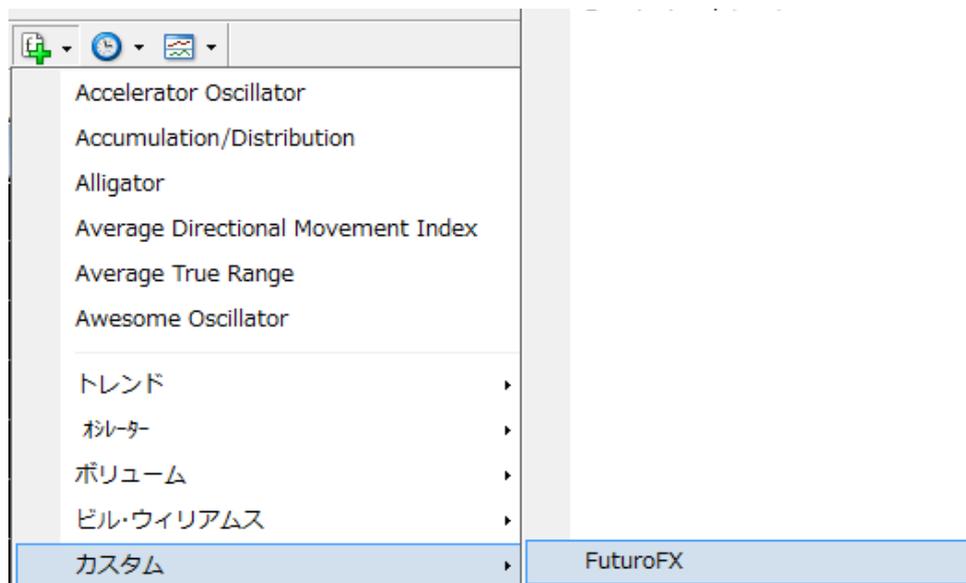
### **(2)Cerber.dllを入れる**

再度MT4のデータフォルダを開き、MQL4⇒Librariesと進み、  
Librariesのフォルダ内にダウンロードしたフォルダ内にあるCerber.dllを入れてください。

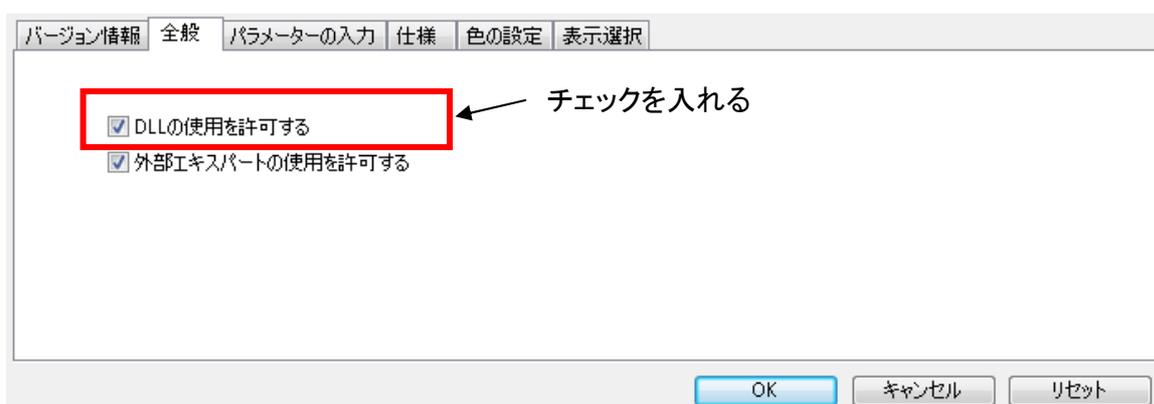
以上が終わりましたら、MT4を再起動させてください

### 3.Futuro FXの表示方法

Futuro FXのファイルをMT4に入れて再起動したら、Futuro FXを表示させましょう。MT4上部のインディケーターリストよりカスタム⇒Futuro FXを探し出して、クリックしてください。



すると、下のような画面が表示されますので



**DLLの使用を許可するにチェックを入れてOKをクリックしてください**

OKをクリックすると、下のようFuturo FXが表示されます。

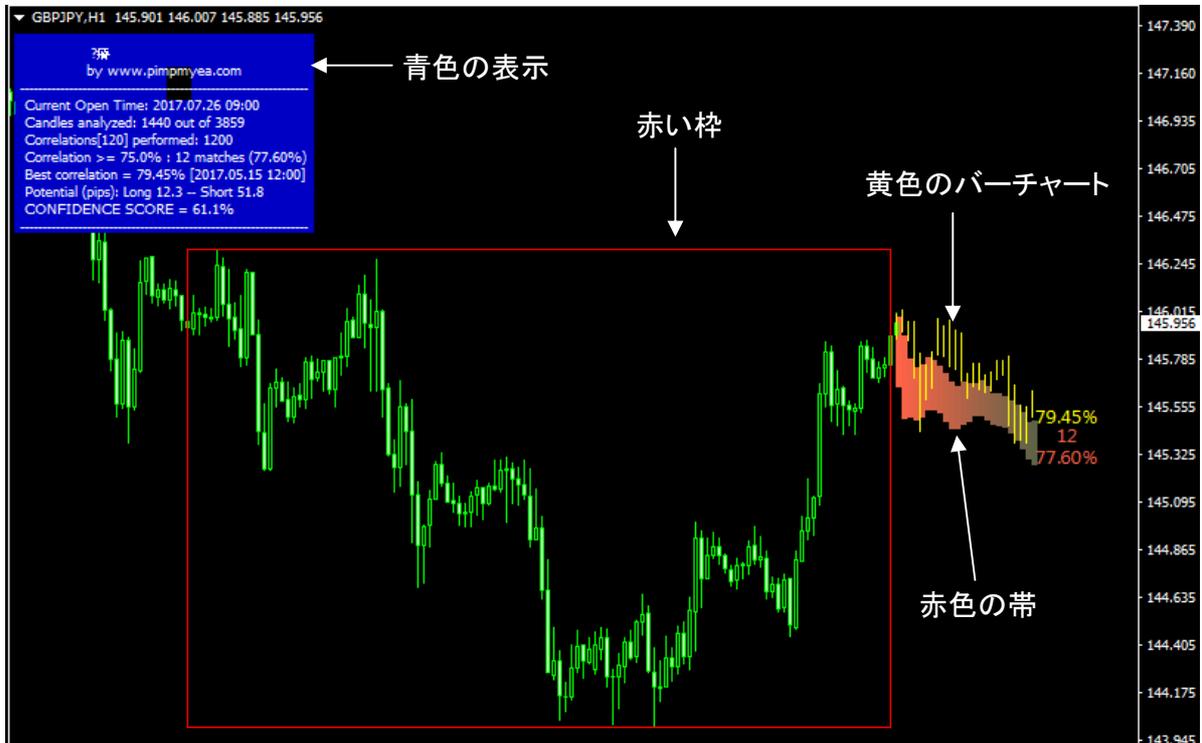


### 注意

後述しますが、現在の動きと過去の動きに相関のあるパターンが見られない時は、チャート右端にN/Aと表示されるだけで、先の動きは表示されません。

## Futuro FXで表示されるものについて

それではFuturo FXの見方や使い方について解説してきたいと思います。  
まずはチャート画面から解説していきます。



チャートにFuturo FXを設定すると以下が表示されます。

- ・最新のローソク足の右側に黄色いバーチャート
- ・最新のローソク足の右側に赤色の帯
- ・最新のローソク足から少しさかのぼった領域に赤い枠
- ・チャート左上に青色の表示

これらの意味するところについて解説していきます。

## 1.黄色いバーチャートについて

Futuro FXは、現在のローソク足のパターンと過去のローソク足のパターンを参照して、最も相関の高い動きを現在のチャートの右側に表示させます。

具体的には、チャート上の赤い枠で囲われた部分を「現在のローソク足のパターン」として、過去のチャートの値動きの中から、相関の高い値動きをしたものを調べていきます。

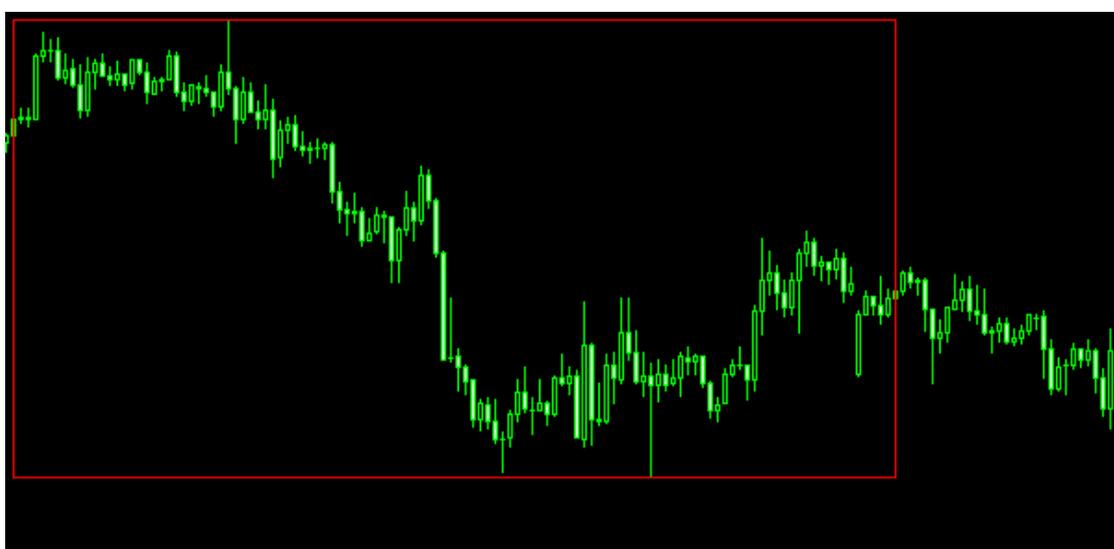


現在の値動きと過去の値動きの中で相関のある値動きは複数見つかります。  
その中で最も相関の高かった値動きを示したのが黄色いバーチャートです。

今回のチャートの例に挙げます。



このチャートから左にスクロールして過去のチャートを見ていきますと、下のチャートのように同じく赤い枠で囲われた箇所が見つかります。

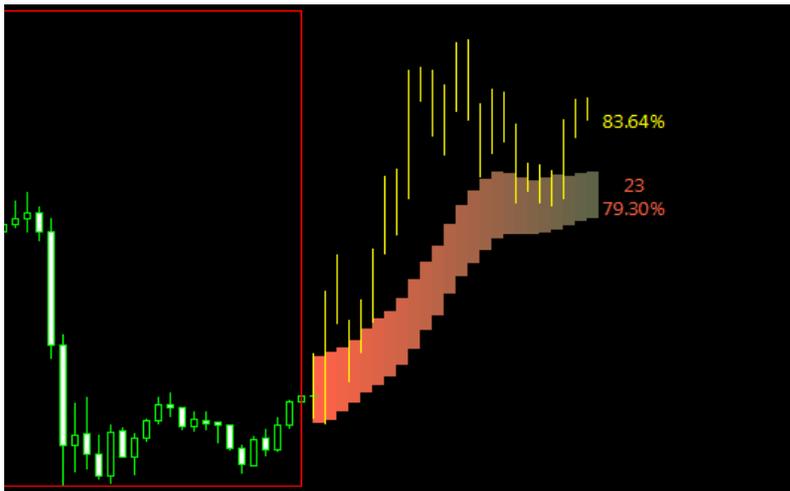


過去のチャートで赤く囲われた部分が、現在の赤枠と最も相関の高い値動きをしたものとなります。チャート右端に表示される黄色いバーチャートは、過去の赤枠で表示された部分のその後の動きを表示しています。

上のチャートと下のチャートを比較していただくと分かるかと思います。

黄色いバーチャートの右に表示される黄色い文字は、相関係数を示します。  
ここでは、現在の赤枠の部分と過去の赤枠の部分がどれだけ一致しているかを示しています。全く同じ値動きならば100%になります。

## 2.赤色の帯について



Futuro FXは、現在のパターンと相関のあるパターンを過去をさかのぼって複数探し出します。最も相関の高いパターンは黄色いバーチャートとして表示されますが、それ以外の相関のあるパターンは平均化して赤色の帯として表示されます。

上のチャートの赤色の帯の横に表示される赤い文字をご覧ください。  
23という整数は、過去をさかのぼった結果、現在のパターンと似たパターンが23個見つかったという意味になります。

その下の%で示す文字は、過去の23個の相関ある動きを平均した場合、現在の値動きと79.30%の相関があるという意味になります。  
基本的にはこの割合が高い方が予測率が高いと考えます。

そして赤色の帯は過去に相関のあった値動きのその後の動きを平均化して表示しています。

まとめますと、黄色いバーチャートは赤枠で囲われ期間と最も相関の高い動きをした過去チャートのそれ以降の動きを表示します。

赤色の帯は、赤枠で囲われた期間と相関のあった過去チャートのその後の動きを平均化したものを表示しています。

基本的には、黄色いバーチャートと桃色の相関が高い方が信頼度は上がりますし、両者の方向が一致している方が予測の精度は高まります。

### 3.黄色いバーチャートや桃色の帯が表示されない時

Futuro FXは常に将来の値動きの予測を表示するわけではありません。

過去の値動きを参照としているため、過去の値動きの中で、現在の値動きと似たパターンが無ければ何も表示されなくなります。



そのような場合は、上のチャートのようにチャート右にN/Aと表示されます。

チャートが進んで過去の値動きと似たパターンが出てきた時には右端に黄色と赤色のチャートが表示されるようになります。

#### 4.チャート左上の青い表示について

チャート左上に表示されます青い四角の部分について解説します。  
この青い部分は、Futuro FXについての条件を示しています。

```
FuturoFX v1.01
by www.pimpmymea.com
-----
Current Open Time: 2012.11.07 12:00
Candles analyzed: 1440 out of 3148
Correlations[120] performed: 1200
Correlation >= 75.0% : 22 matches (79.44%)
Best correlation = 86.43% [2012.02.17 08:00]
Std Dev (pips) = 52.5 on Highs, 54.0 on Lows
Potential (pips): Long 163.9 -- Short 20.0
CONFIDENCE SCORE = 67.1%
-----
```

(画像は英語版のマニュアルより転載しています。)

以下に各項目の示す意味を解説していきます。

##### Current Open Time

現在のローソク足の始値の時間を示しています。

##### Candles analyzed:1440 out of 3148

過去のローソク足のうち何本分さかのぼって相関を調べたかを示しています。  
上記では「1440 out of 3148」となっていますが、これはMT4に3148本分の  
ローソク足のデータがあった中で、1440本分までさかのぼって相関を調べた  
という意味になります。

##### ・ Correlations 【120】 performed:1200

過去のチャートの中から相関のあるパターンを調べた回数を示します。

上記の場合は、120本分のローソク足と相関のあるパターンを過去のチャートを  
さかのぼって1200回調べたという意味になります。)

・ Correlation $\geq$ 75.0% : 22 matches(79.44%)

現在のパターンと相関のある動きを調べた結果が掲載されています。

ここでは、75%以上の相関があったのは22個あり、それらを平均すると、79.44%の相関だったという意味になります。

・ Best Correlation=86.43%[2012.02.17.08:00]

最も相関の高かった動きの時間と、どれだけ相関があるかを示しています。

・ Std Dev(pips)=52.5 on Hights, 54.0 on Lows

過去の相関のあった値動きの標準偏差を示しています。

後述しますが、この標準偏差はチャート上に表示させることも可能です。

・ Potential(pips) : Long 163.9 Short 20.0

現在のローソク足の始値とその横に表示される黄色いバーチャートの最高値と最安値までの距離を示します。

Long 163.9pipsということは、現在のローソク足の始値から黄色いバーチャート群の最高値までの距離が163.9pipsあるという意味です。

同じくShort 20.0とは、現在のローソク足の始値から黄色いバーチャート群の最安値までの距離が20.0pipsあるという意味です。

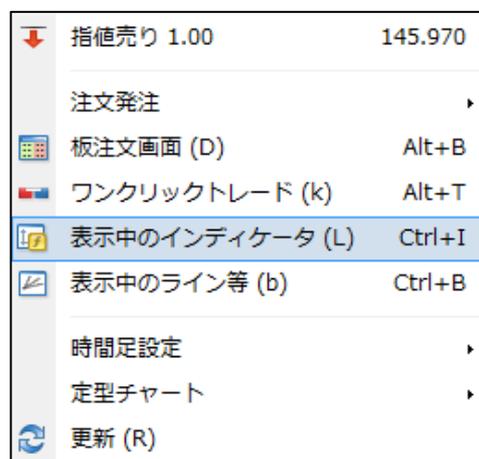
・ Confidence Score=67.1%

Futuro FXの自信度です。この数値が高いほど過去のチャートと似た動きをしており、将来の予測率が上がることを意味します。

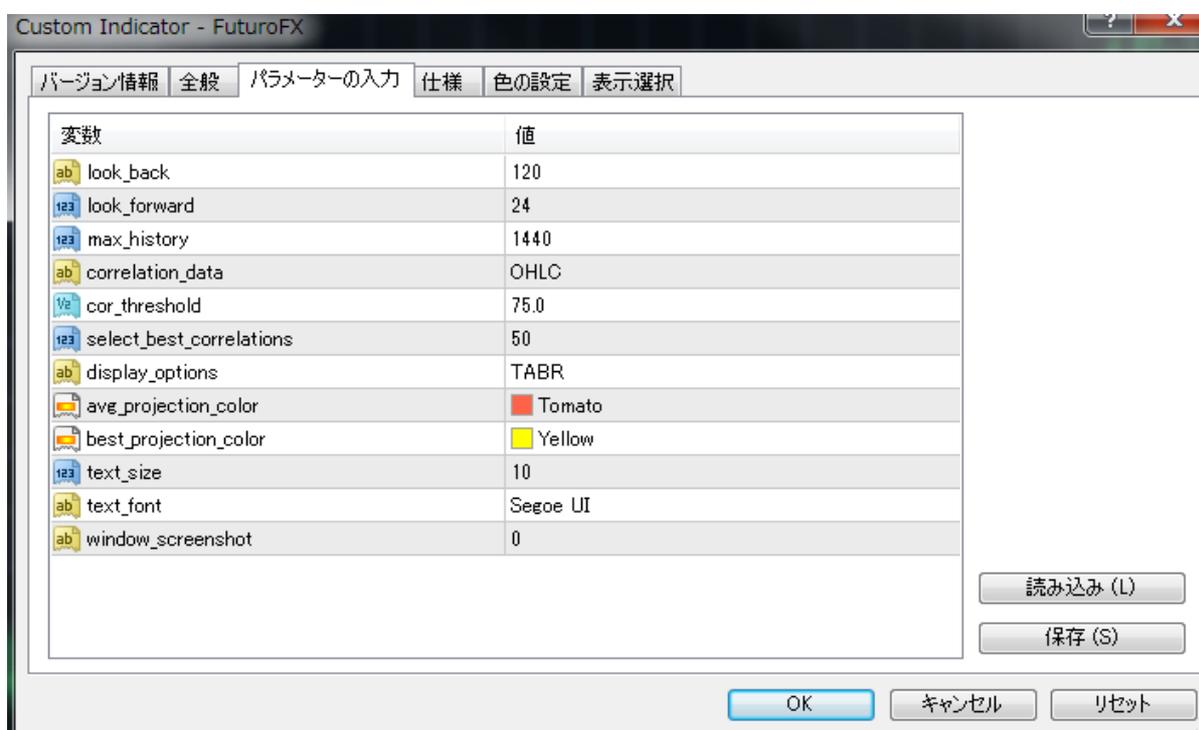
## パラメーターの変更について

Futuro FXでは各種パラメーターを変更できます。基本的にはデフォルトでもいいかとは思いますが、カスタマイズしたい際は参考にしてください。

まずは、Futuro FXが表示されているチャート上で右クリックをして「表示中のインディケータ」を選択してください。



すると下のような画面が表示されます。これが各種パラメーターです。



次ページより詳しく解説していきます。

### Look back (デフォルトは120)

Futuro FXで過去の動きと相関を見る時のローソク足の本数を示します。  
この数字を変化させると、赤い枠で囲われたローソク足の本数が変化します。

### look forward (デフォルトは24)

最新のローソク足の右側に表示する黄色いバーと桃色の帯の本数です。

### max history (デフォルトは1440)

Futuro FXが現在のチャートとの相関を調べるために参照するローソク足の本数です。  
デフォルトが1440ということは、過去1440本さかのぼって相関を調べるという意味になります。

ここで値を0にすると、過去のローソク足全てにおいて相関を調べられます。

### correlation\_data (デフォルトは OHLC )

相関を計算する際に利用する値です。

デフォルトのOHLCとは、

O (Open = 始値)

H (High = 高値)

L (Low = 安値)

C (Close = 終値)

の4つの値を意味します。

設定がOHLCということは、Futuro FXが過去との相関を計算する際に4つの値についてそれぞれ相関を求めていることを意味します。

他にも参照できる値としては、

M (Median = 半値 : 高値と安値の中間値)

T (Typical = 典型的価格 : (高 + 低 + 終) ÷ 3の値)

W (Weighted = 高値、安値、終値 × 2 の平均値)

があります。

例えば、correlation dataの欄に「HLT」の入力すれば、チャート中の高値、安値、典型的価格の3つについて相関が調べられることとなります。

#### cor threshold (デフォルトは75)

Futuro FXは現在の値動きと過去の値動き参照して、複数の相関を見つけ出します。しかし、価値があるのは「高い相関」だけです。

そこで、ある程度相関の高い値動きのみを選ぶために選別する必要があります。デフォルトの75という値は、相関が75%以上ないと平均（赤色の帯）の計算には入れないという意味になります。

ここで、過去との相関が75%以下のものばかりだった場合チャート上にN/Aと表示されることとなります。

#### select \_best \_correlations (50)

過去のチャートの参照期間を長くすればするほど、相関のある動きは見つかりやすくなります。すると、75%以上の相関のあるパターンも多く見つかる傾向にあります。そんな時に、足りりとして使うのがこの項目です。

デフォルトの50という数字は、相関の高い上位50位までを赤色の帯の計算に利用するという意味になります。

#### display\_options (" TABR ")

Futuro FXの応用的な使い方に関する設定です。

長くなりますので後述します。

#### avg\_projection\_color (Tomato )

赤色の帯の色を変更します。

#### best projection color (Yellow)

黄色のバーの色を変更します。

### text size (10)

桃色のバーと黄色のバーの横に表示される数字のフォントサイズです。

### text font (segoe UL)

桃色のバーと黄色のバーの横に表示される数字のフォントです。

### Window screenshot (0)

Futuro FXには、自動的にチャート画像を保存するスクリーンショット機能が備わっていますが、デフォルトの0ではスクリーンショット機能はオフになっています。

ここに1と入力すると、Futuro FXは新たに足が更新されるたびに1024×768サイズのスクリーンショットを保存します。

(この画像ファイルはMQL4フォルダ内にある「Files」のフォルダー内に入ります。)

また、スクリーンショットの値を2にすると、2本バーが更新されるごとに、3にすると3本バーが更新されるごとにスクリーンショットを保存していきます。

`display_options (" TABR ")`

Futuro FXの表示に関わるセッティングです。

デフォルトのTABRの意味としましては以下の通りです

T:Textual Interface (左上に表示される青い四角)

A : Average Projection (赤色の帯を表示させる)

B : Best Projection (黄色いバーを表示させる)

R : Rectangles (赤色の枠を表示させる)

他にも使える文字としましては以下のものがあります。

C:Barycenters (重心)

S:Standard Deviations (標準偏差)

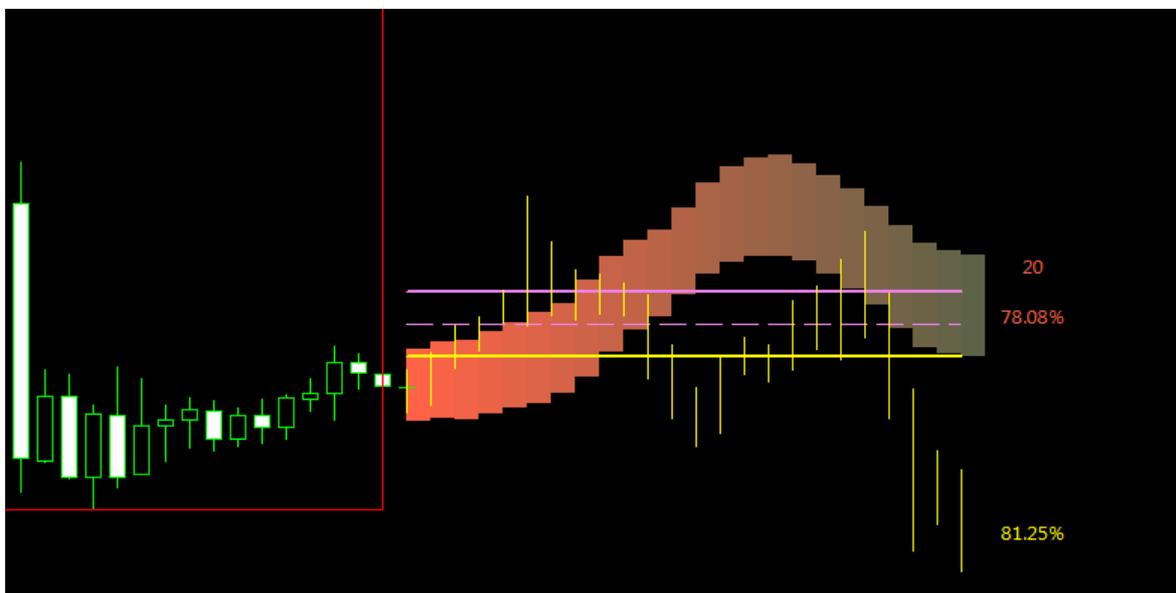
O:Outliners (アウトライン)

以上3つはFuturo FXの応用的な使い方となり、デフォルトで慣れた方に使うためのシステムですので参考にしてください。

ではC、S、Oについてそれぞれ解説していきます。

## C:Barycenters (重心)

display optionsの欄にCを加えると下のチャートのように3本の水平線が追加されます。



上のチャートではDisplay Option にTABRCと入力しています。

ab display\_options TABRC

3本の水平線の線の意味としましては、

紫色の水平線：赤色の帯の平均値

黄色の水平線：黄色いバーの平均値

紫色の点線の水平線：上の二つの水平線の平均値

考え方としましては、以下の通りです。

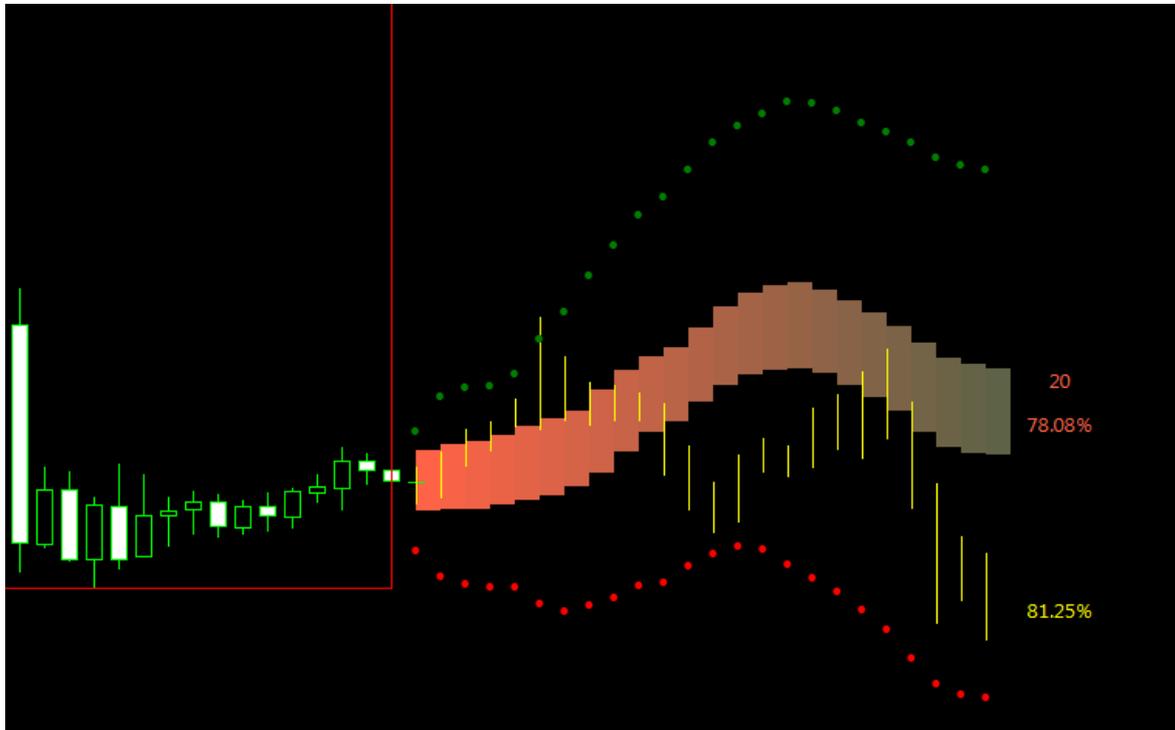
紫色と黄色の水平線をチャンネルとして考え、現在の価格がそのチャンネルの下にあればロング目線にし、逆に価格がチャンネルの上であればショート目線にします。

ショート目線、ロング目線にしても、真ん中の紫色の点線が利益確定の一つの目安になります。

このやり方は相場がレンジ相場の時に効果的かと思います。

## S:Standard Deviations (標準偏差)

Display optionsにSを加えると、下のチャートのように点線が追加されます  
このケースではTABRSと記入しています。



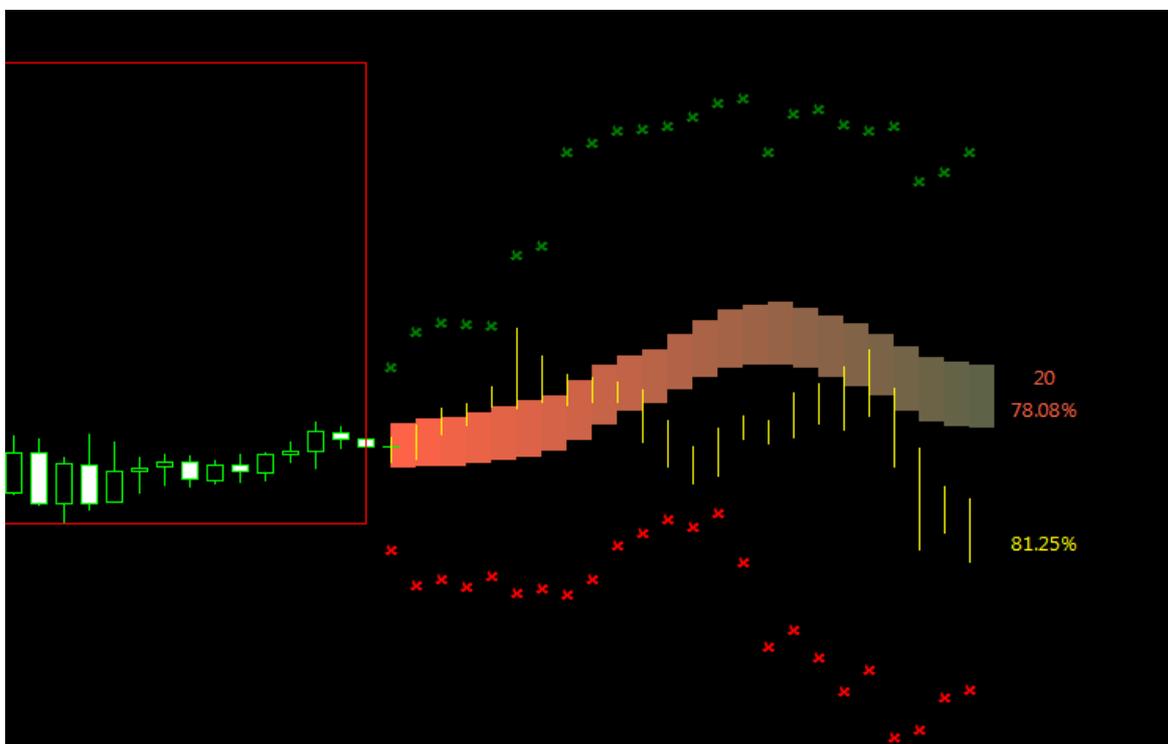
この点線は何を意味しているかといいますと、赤色の帯のボリンジャーバンドです。  
赤色の帯は、現在の値動きと相関のある複数の過去チャートの先の動きを平均して  
計算しています。

複数の動きを参照しているわけですから、必然的にばらつきも出てきます。  
このばらつきを示したの緑と赤の点線になります。

点線は、各動きのばらつきを示していますので、赤と緑色の点線が赤色の帯に近いほど  
「過去の動きにばらつきが少ない」と考えることができますので、この時は信頼度が  
上がります。

## O:Outliners (アウトライン)

Display optionsにOを加えると、下のチャートのように×が追加されます  
このケースではTABROと記入しています。



この×は一体何を意味しているのかといいますと、過去の相関のあった複数の動きの中で最も高かったレートと最も低かったレートです。

先ほど解説したStandard Deviationsでは、それぞれの動きの標準偏差を表示していたわけですが、このOutlinersでは、それぞれの動きの中の最高値と最安値を表示しています。

標準偏差とアウトラインを見ることで、今後の動きのシナリオを立てやすくなるかと思えます。

## Futuro FXのトレードでの使い方

Futuro FXは非常に汎用性の高いツールです。

現在利用できるインディケータのほとんどが、「過去n期間の終値」を利用しているだけです。確かに計算方法はインディケータ独自のものがあるとは思いますが、参照している数字はどれも大きな違いは無いのです。

しかし、Futuro FXは現在の値動きと近いパターンをした過去の値動きを探し出し、それらの中で最も相関の高かった動きを黄色いバーで表示、また相関のあった動きの平均を赤色のバーで表示するという他にはない価格のレートの参照をします。

ですから、どんなインジケータや手法と組み合わせることが可能です。

では、具体的にどんな利用方法があるかご紹介します。

### 1.現在のチャートと一緒に表示させて利用する

前述のとおり、Futuro FXは他のトレード手法との相性が抜群です。

ですので、既に手法をお持ちの方はエントリーポイントが来た時に、Futuro FXで表示される将来を参考にしながらエントリーするかしないかを考える、ポジションを持っている時にFuturo FXが反転を示したら利食いする、等の使い方が出来ると思います。

もちろんFuturo FXの示す将来を鵜呑みにするのではなく、表示された相関の高さ等を考えながらトレードしていく必要があることは言うまでもありません。

### 2.シナリオ作りに活かす

裁量トレーダーの場合「シナリオ」を考えることは大切なことです。

現在のチャートを分析して「これからこんな動きをしたら、エントリーする」といったように、先を読みながらチャートを見なくてははいけないのです。

このシナリオ作りの時にFuturo FXを表示させることで、今後はどのような動きが起きやすいのかがビジュアル的にも分かりますので、シナリオを考える際にも役立つと思います。

### 3.Futuro FXの予測能力を活かしたデイトレ方法

これはFuturo FXをメインにしたトレード手法です。  
簡単にご説明します。

#### 1.二つの時間軸にFuturo FXを表示させる。

例えば5分足と30分足、1時間足と4時間足など執行時間軸の4倍～8倍の時間軸を上位時間軸とするのが一般的です。

2.上位時間軸においてFuturo FXが明確な方向を示し、黄色のバーと赤色の帯が明確な動きを示したら執行時間軸を見る。

3.執行時間軸でもFuturo FXが上位時間軸と同じ方向を向いたらエントリー。

利食い損切りは、執行時間軸のFuturo FXが逆向きを示した、標準偏差に達した、アウトラインに達したなど色々な考え方があると思います。

個人的には、Futuro FXはトレードの補助ツールとして利用するのが正しいかとは思いますが、積極的に利用することも可能です。

以上、Futuro FXの解説でした。

Futuro FXは非常に面白いツールです。ぜひトレードで利用してみてください。

また、他にも面白いツール等が見つかりましたら、メルマガ読者の方に優先的にご紹介していきたいと思っています。最後まで読んでいただきありがとうございました。

正太郎